

稚内港

稚内市建設産業部港湾空港課

〒097-8686 北海道稚内市中央3-2-1

☎0162-23-6482

URL : <https://www.city.wakkanai.hokkaido.jp/sangyo/kowan/>



1. 概況

18世紀後半の天明年間に漁場が開かれ、稚内港の歴史が幕を開けて以来、稚内港は稚内の歴史とともに歩み続けている。北半球の中心にあたる北緯45度に位置する、世界に開かれた港湾として、より高度な機能を整えるとともに、「街のシンボル」として隣接する市街地も視野に入れた整備が進められている。

稚内港が大きな発展を遂げるきっかけとなったのは、日露戦争後の1905(明治38)年、南樺太(今日のサハリン島南部)の領有が決まったことである。地理的に近い稚内港を中継港として活用する気運が高まり、1919(大正8)年、政府決定による「第一期北海道拓殖計画」に稚内港の防波堤や貨客船バースを本格的に整備する計画が加えられた。翌1920(大正9)年に着工された工事は、1923(大正12)年の鉄道完成と同時期に完成した。

この年には鉄道省による稚内港と樺太の大泊港(今日のコルサコフ港)とを結ぶ「稚泊航路」が、翌1924(大正13)年には北日本汽船による稚内・本斗(今日のネベリスク)間の連絡船がそれぞれ就航した。また、利尻・礼文両島との間を結ぶ航路も稚内利礼運輸(今日のハートランドフェリー)によって開設され、稚内は海上交通の要衝となった。

これらの航路の棧橋として、26歳の若き土木技師土谷実氏設計により、1931(昭和6)年から1936(昭和11)年までの5年の歳月を費やして北防波堤ドームが完成した。激しい波浪や風から船や施設を護るため、他に類例の無い「ドーム式」が採用された北防波堤ドームは、古代ギリシアの柱廊を想わせる独特の形状で知られている。樺太へ連絡する列車は、ドーム前に敷設された線路に滑り込んでいた。現在では、樺太航路の遺産として、さらには稚内港や稚内市のシンボルとして、広く親しまれている。

樺太を失った戦後も、機船底曳による北洋漁業の開発や天北石炭の需要により、稚内港の利用も増加し続けた。1948(昭和23)年1月には関税法による「開港」の指定、1952(昭和27)年7月には出入国管理令による「出入国港」の指定、1957(昭和32)年5月には港湾法による「重要港湾」の指定、さらに1962(昭和37)年6月には検疫法による「検疫港」の指定をそれぞれ受けている。

1970(昭和45)年から利尻・礼文両島との間を結ぶフェリーが就航したことを受け、1974(昭和49)年には北埠頭にバースを増設した。翌1975(昭和50)年からは天北地区に外国貿易機能を備えた天北1号埠頭を建設し、背後に76haの用地も

造成した。稚内港は近代的な港湾に生まれ変わった。

1974(昭和49)年に「利尻礼文サロベツ国立公園」の指定がなされて以来増加する観光客への対応や、生活へのうらおいを求める市民の要望に応えるため、稚内港のシンボルである北防波堤ドームの全面的修復工事が1978(昭和53)年から30年で実施された。1987(昭和62)年には北防波堤ドーム内部と一体化した親水護岸「しおさいプロムナード」が完成し、さらに天北地区の緑地整備にも着手され、稚内港は「憩いの空間」としても体裁を整え始めた。

1990年代に入ると、ロシアなど諸外国の船舶が稚内港に寄港する機会が顕著に増加した。また、1995(平成7)年には、半世紀ぶりに稚内港とサハリンのコルサコフ港とを結ぶ定期航路が復活した。「世界への玄関」としての稚内港への期待がますます高まり、「街のシンボル地区」として隣接市街地への広がりも視野に入れた「稚内マリンタウンプロジェクト」が構想された。

1995(平成7)年までには、第1期事業の中核となる港湾文化交流施設「シーポートプラザ」、港湾厚生施設「市民温水プール・水夢館」が完成し、さらに船員や港湾利用者向け利便施設「ポートサービスセンター」も整備された。

1995(平成7)年からのマリンタウンプロジェクト第2期事業では、利尻・礼文両島への国内フェリーとサハリンへの国際航路を2008(平成20)年に中央埠頭に集約し、JR稚内駅を中心とする市街地再開発や第一副港地区再開発事業と連携したシンボル緑地(通称「北防波堤ドーム公園」)が2012(平成24)年に完成し、交流拠点の形成が図られている。

近年、クルーズ需要が増加する中、より大型のクルーズ船を受け入れるため、末広埠頭において岸壁延長不足や係船柱の強度不足に対応した整備が2018(平成30)年に完了し、より安全な入港が可能となった。

稚内港背後圏は、国内で最適な風況地域であることから送電網の整備や風力発電の建設が進められているほか、対岸サハリンでの大規模な石油・天然ガス開発事業が進展していることから、稚内港はそれら資機材の基地港として期待されている。稚内港ではこれまでに公共上屋や保税蔵置場の整備のほか、埠頭用地の地盤改良、200吊クローラクレーンの配備など、港湾機能強化を図ってきており、今後もより利便性が高い港湾への期待が寄せられている。

稚内港は2017(平成29)年に津波や地震に対する事業継続計画(BCP)を策定し、有事の際にもこれら地域の拠点となる強い港湾に向け、引き続き港湾施設機能強化を図っていく。

2. 港勢

入港船舶

種別	合計		30,000総トン以上		10,000総トン以上 30,000総トン未満		6,000総トン以上 10,000総トン未満	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
外航商船	87	153,172			7	137,205		
内航商船	239	414,524			2	43,806		
自航	1,638	6,259,406						
その他	1,989	195,650						
合計	3,953	7,022,752			9	181,011		

種別	3,000総トン以上 6,000総トン未満		1,000総トン以上 3,000総トン未満		500総トン以上 1,000総トン未満		5総トン以上 500総トン未満	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
外航商船			1	1,494			79	14,473
内航商船	68	269,317	35	64,933	18	15,295	116	21,173
自航	1,638	6,259,406						
その他	1	5,082	29	43,500	2	1,050	1,957	146,018
合計	1,707	6,533,805	65	109,927	20	16,345	2,152	181,664

最大入港船舶のトン数 50,444総トン（喫水 7.8m）

海上出入貨物

項目	合計		農水産品		林産品		鉱産品		金属機械工業品	
	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%
輸出										
輸入	180,764	100.0	1,317	0.7					179,447	99.3
計	180,764	100.0	1,317	0.7					179,447	99.3
移出	57,345	100.0	3,264	5.7			4,447	7.8		
移入	211,373	100.0	21,809	10.3			3,713	1.8	559,940	0.1
計	268,718	100.0	25,073	9.3			8,160	3.0	147	0.1
合計	449,482	100.0	26,390	5.9			8,160	1.8	179,594	40.0

項目	化学工業品		軽工業品		雑工業品		特殊品		分類不能のもの	
	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%
輸出										
輸入										
計										
移出	27,844	48.6	21,790	38.0						
移入	185,704	87.9								
計	213,548	79.5	21,790	8.1						
合計	213,548	47.5	21,790	4.8						

太字は自動車航走船取扱貨物（外数）で、計及び合計に含まない

外貿コンテナ貨物取扱量

項目	フレートトン	TEU	
		実入り	空コン
輸出			
輸入	252	63	

乗降人員

	合計	乗込人員	上陸人員
外国航路			
内国航路	236,051	124,099	111,952
計	236,051	124,099	111,952

3. 港湾施設

区分 埠頭名	けい船施設					荷さばき施設					主な 取扱貨物
	バース名	前面 水深 (m)	延長 (m)	最大 けい船 能力 (DWT)	船 席 数	荷役機械			上 屋		
						機械名	揚力 (t)	基数	棟数	使用 面積 (㎡)	
北埠頭	南岸壁 A	5.0	135	2,000GT	1						官公庁 官公庁 官公庁
	南岸壁 B	5.0	133	2,000GT	1						
	けい船岸壁	6.0	154	3,000GT	1						
中央埠頭	-7.5m北岸壁(基部)	7.5	130	5,000	1						石油類、セメント フェリー フェリー 製造食品
	-5.5m北岸壁	5.5	100	2,000	1						
	-6.0m北岸壁	6.0	160	5,000	1						
	-7.5m北岸壁(先端)	7.5	200	6,000GT	1						
	-6.0m南岸壁	6.0	160	3,000GT	1						
	-5.5m南岸壁	5.5	120	2,000	1						
	-6.0m耐震岸壁	6.0	160	3,000GT	1						
北洋埠頭	第1南岸壁	8.0	210	280GT	3						砂、砂利 非金属鉱物 石油類 漁船用岸壁
	第2南岸壁	6.0	291	350GT	6						
	-6.0m北岸壁	6.0	321	350GT	2						
	-7.5m北岸壁	7.5	140	5,000	1						
	改良岸壁	5.0	753	125GT	16						
第一副港		5.0	1,025	125GT	22						漁船用岸壁
第二副港		5.0	420	125GT	9						漁船用岸壁
天北1号埠頭	西岸壁	10.0	185	15,000	1						水産品 水産品 水産品
	北岸壁	10.0	185	15,000	1						
	東岸壁	7.5	260	5,000	2						
天北2号埠頭	西岸壁	7.5	260	5,000	2						水産品 水産品
	東岸壁	5.5	180	2,000	2						
末広埠頭	西岸壁	5.0	260	400GT	2						水産品 電気機械、クルーズ船
	東岸壁	12.0	240	30,000	1	C	200	1	2	1,100	

保管施設		
区分	棟数	面積・容量
野積場	3	79,582㎡
普通倉庫	-	-
1～3類倉庫	-	-
危険品倉庫	-	-
野積倉庫	-	-
貯蔵倉庫(サイロ)	-	-
冷蔵倉庫	-	-
水面倉庫(貯木場)	-	-

泊地		
区分	水深(m)	面積(㎡)
回頭泊地	4.5～7.5	469,000
	7.5～9.0	606,500
	9.0～	517,700
検疫錨地	10.0	1,131,000
はしけ溜	-	-
木材投下泊地	-	-
危険物泊地	-	-

港湾関連施設	
名称	延床面積(㎡)
稚内フェリーターミナル	4,215.96
稚内港国際旅客ターミナル	1,313.58
稚内市ポートサービスセンター	836.73

臨港交通施設	
名称	総延長(m)
臨港道路	25,877m
新交通・鉄道	-
ヘリポート	-

4. コンテナターミナルの概要

該当なし

5. マリーナ

該当なし

6. 緑地

区 分 名 称	面 積 (㎡) (植栽率-%)	水際線延長 (m)	緑地タイプ	竣工年度	施 設	
					利 用 施 設	附 属 施 設
天北緑地	7,250	-	休息緑地、 緩衝緑地	昭和55年度	水飲場2、東屋2 ベンチ10、鉄棒1、便所1	
北洋埠頭緑地	1,860	-	休憩緑地	昭和62年度	庭球場1、水飲場1 ベンチ4	
末広緑地	14,000	-	休憩緑地	平成7年度	便所1、遊具3、東屋3 ベンチ18	
北埠頭緑地	32,000	-	休憩緑地	平成3年度 平成23年度	便所1、水飲場1、東屋1 ベンチ20、屋外ステージ1	
天北2号緑地	5,400	-	修景緑地	平成14年度	便所1、時計台1、東屋2 ベンチ10	

7. 基地港湾

該当なし

8. ポートサービス

港湾運送

名 称	所 在 地	電話番号	業 種					
			一 般	港 湾 荷 役 (一貫)	船 内	沿 岸	は い し か だ	
日本通運(株)稚内支店	〒097-0023 稚内市開運2-1-7	0162-23-2651	○		○	○		
稚内海運(株)	〒097-0006 稚内市新港1-5	0162-23-7317	○		○	○		

水先

水 先 区	水 先 人 会 事 務 所 所 在 地	電話番号	会員数
稚内港港湾区域	〒097-8686 稚内市建設産業部物流港湾課施設管理グループ 稚内市中央3丁目2番1号	0162-23-6483(直通)	5

※上記水先人会は設置されていないため、当市港湾空港課でけい留停泊等の指示をしている。

曳船

名 称	所 在 地	電話番号	馬 力	隻数
稚内港運(株)	〒097-0005 稚内市大黒5-5-5	0162-22-3233	500×1基 400×2基	2
浜田海運(株)	〒094-0013 紋別市南が丘町6丁目9番22号	0158-23-3586	1,500×2基	1

医療・厚生施設

(港湾)

区 分	名 称	所 在 地	電話番号
休憩施設	稚内市ポートサービスセンター	〒097-0023 稚内市開運2丁目3番1号	0162-23-4688

9. 関係出先官公署

名 称	所 在 地	電話番号
稚内海上保安部	〒097-0023 稚内市開運2丁目2番1号(港湾合同庁舎)	0162-23-2633
北海道運輸局旭川運輸支局稚内庁舎	〒097-0023 稚内市開運2丁目2番1号(港湾合同庁舎)	0162-23-5047
札幌出入国在留管理局稚内港出張所	〒097-0023 稚内市開運2丁目2番1号(港湾合同庁舎)	0162-23-3269
小樽検疫所稚内出張所	〒097-0023 稚内市開運2丁目2番1号(港湾合同庁舎)	0162-23-4403
稚内税関支署	〒097-0001 稚内市末広5丁目6番1号(稚内地方合同庁舎)	0162-33-1075
北海道開発局稚内港湾事務所	〒097-0001 稚内市末広4丁目5番33号	0162-33-2758
北海道警察旭川方面稚内警察署	〒097-0005 稚内市大黒1丁目6番48号	0162-24-0110

